



3M™ AbThera™ 治療システム

クイッククリファレンスガイド



3M™ AbThera™ 治療システム 使用物品

| 陰圧維持管理装置(3M™ V.A.C.® Ulta 型陰圧維持管理装置)

| 3M™ AbThera™ ドレッシングキット／3M™ AbThera™ Advance ドレッシングキット (画像は3M™ AbThera™ Advance ドレッシングキット)

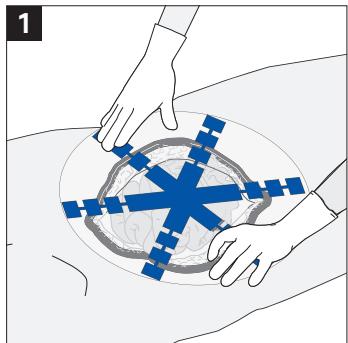


3M™ AbThera™ 保護レイヤ

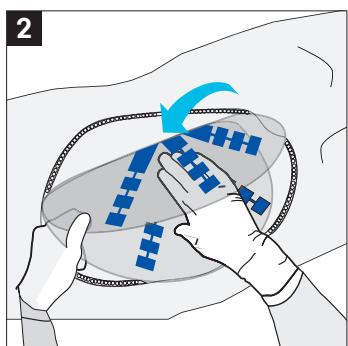
| 3M™ AbThera™ 保護レイヤの適用方法

3M™ AbThera™ 保護レイヤは腹腔の奥深く、傍結腸溝まで入れ込む。

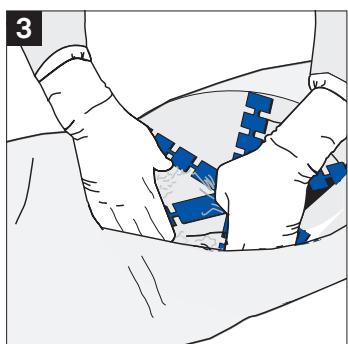
※折り畳んで挿入できるため、必ずしもカットする必要はありません。



創部中心部に3M™ AbThera™ 保護レイヤの中心部を合わせる。

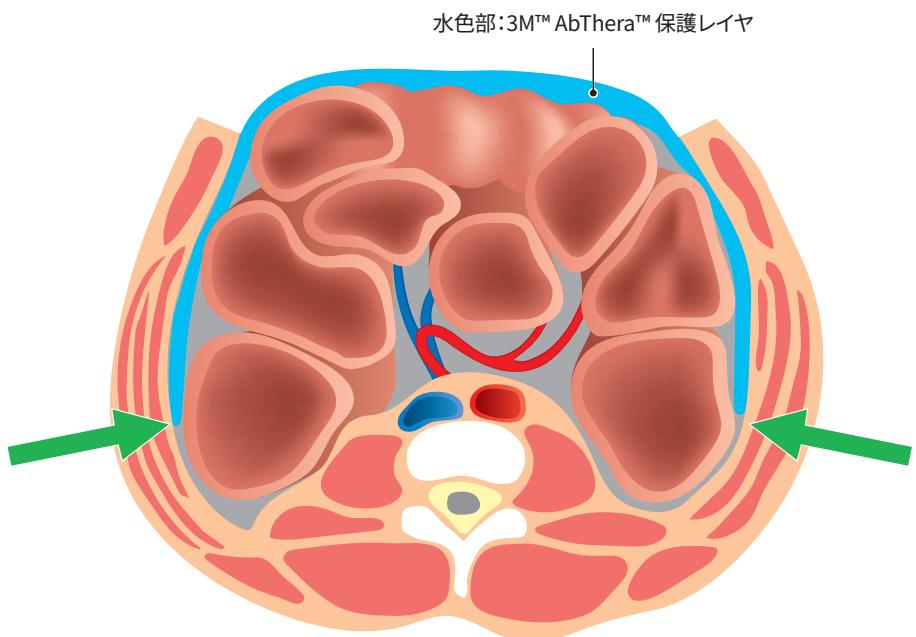


3M™ AbThera™ 保護レイヤの端をつかみ少し持ち上げる。



つかんだ3M™ AbThera™ 保護レイヤを傍結腸溝内にゆっくりと挿入し、もう一方の手で支えながらゆっくりと入れ込み、臓器全体を覆う。

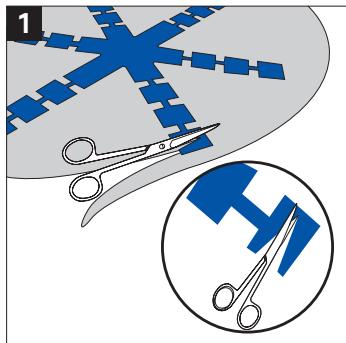
3M™ AbThera™ 保護レイヤを傍結腸溝までしっかりと挿入することで、臓器を保護するとともに深部の液体除去を促進します。



- 3M™ AbThera™ 保護レイヤの端が折り畳まれて重なっていても、陰圧伝達・ドレナージには問題ありません。
- **3M™ AbThera™ 保護レイヤを折り畳む際は、外側に折り返してください。**
(内側に折り返すと、臓器全体を覆えていない可能性があるため)

3M™ AbThera™ 保護レイヤ

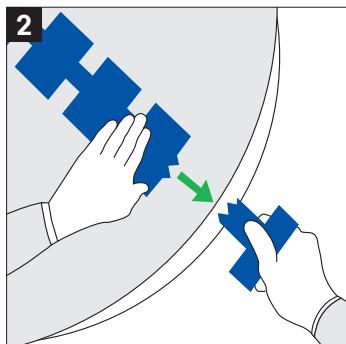
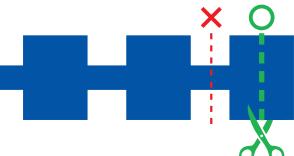
| 3M™ AbThera™ 保護レイヤをカットする場合(オプション)



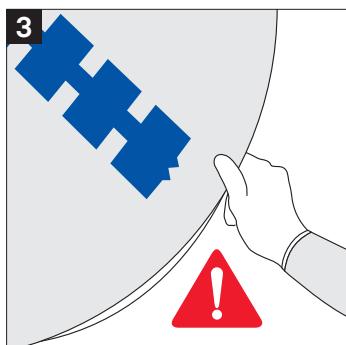
全周をカットする。その際、必ず四角形のフォームの中央部でカットする。



四角形フォーム間の接続部でカットしないでください。



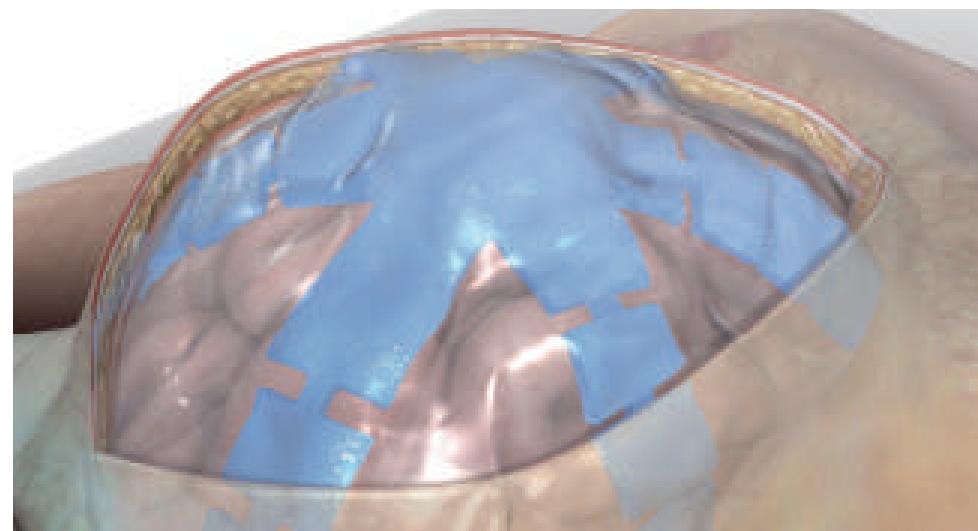
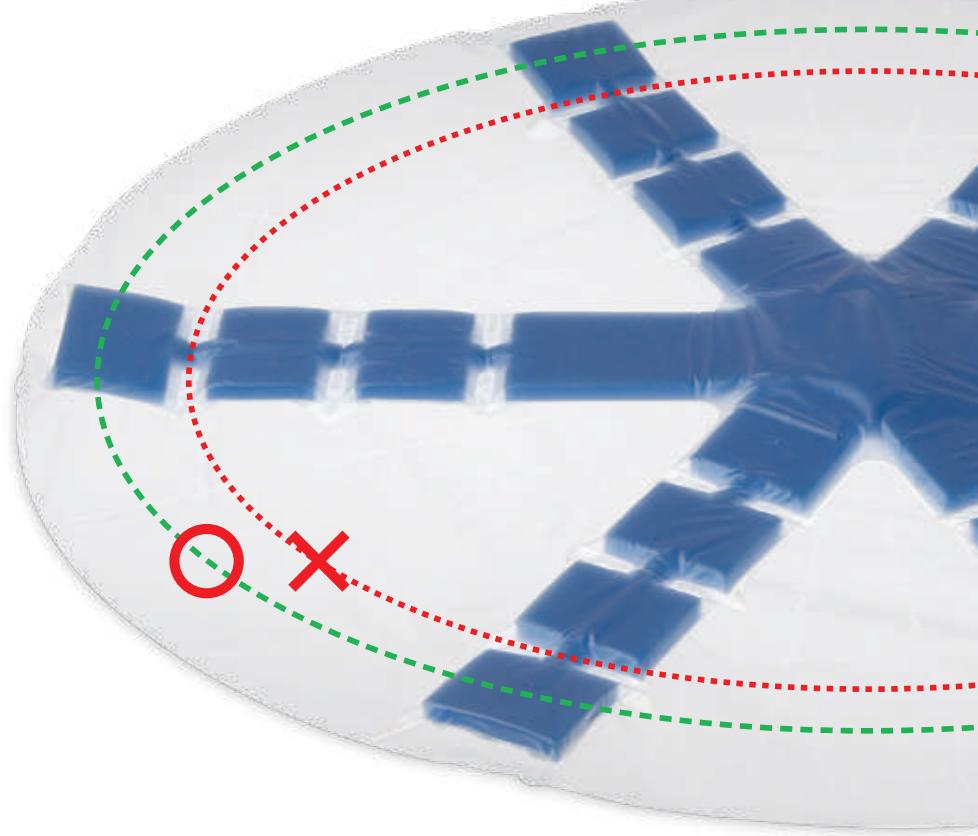
カットした四角形フォームの残り半分のフォーム片を引き抜き、接続部の部分から取り除く。



3M™ AbThera™ 保護レイヤの端からフォームが露出していないことを確認する。

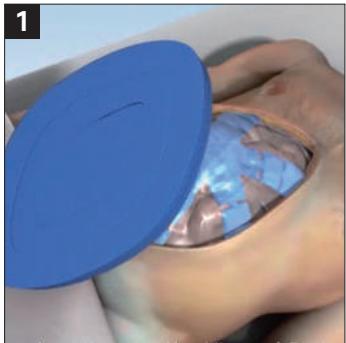


- レイヤの端からフォームが露出していないことを必ず確認してください。
- フォーム片の数を確認し破棄します。(全周の場合、計 6 ピース)除去したフォーム片が創部に入り込まないよう注意してください。



3M™ AbThera™ (Advance) ブルーフォーム、3M™ V.A.C.® ドレープ

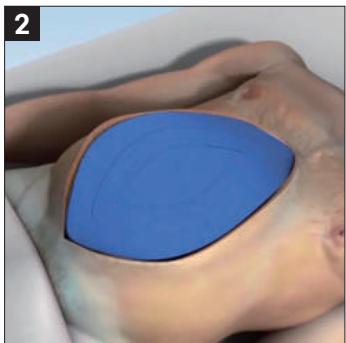
| 3M™ AbThera™ (Advance) ブルーフォームの適用方法



- 開口部の大きさに合わせて3M™ AbThera™ (Advance) ブルーフォームの大きさを調整し、3M™ AbThera™ 保護レイヤ上に適用する。
- 創部の深さに合わせ、使用枚数(1枚か2枚)を調節する。

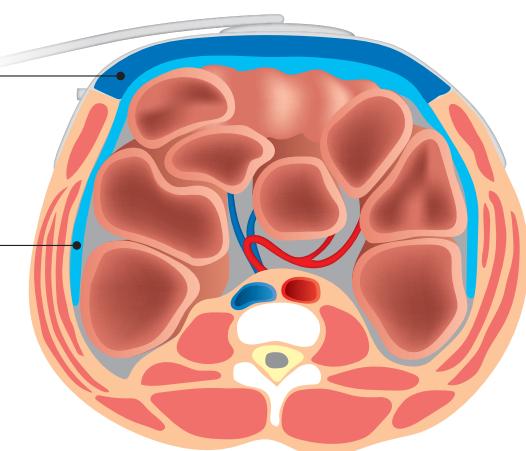


- 3M™ AbThera™ (Advance) ブルーフォームが、腹腔内臓器(特に腸管(ストマ)や肝錐状間膜など)に接触しないよう注意してください。
- 3M™ AbThera™ (Advance) ブルーフォームが、創周囲の健常皮膚に接触しないよう注意してください。また、腹腔内に落ち込まないよう注意してください。

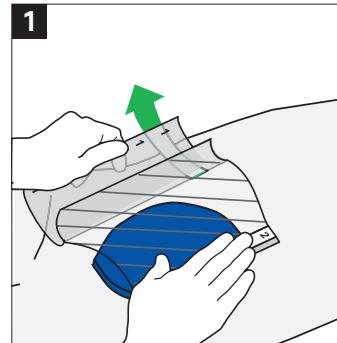


3M™ AbThera™ (Advance)
ブルーフォーム

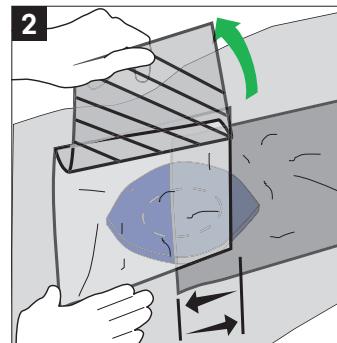
3M™ AbThera™
保護レイヤ



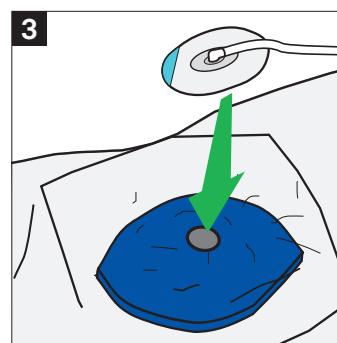
| ドレッシングの適用方法



創周囲の健常皮膚8～10cmまで覆えるよう、創部全体に3M™ V.A.C.® ドレープを貼付する。



重ね張りの際は、3M™ V.A.C.® ドレープ間に隙間がないよう、3M™ V.A.C.® ドレープ同士をしっかり重ねて貼付する。



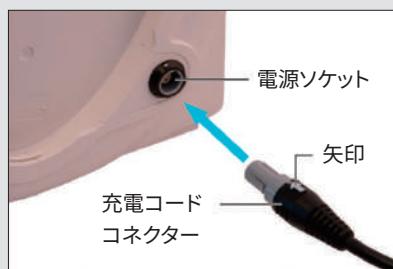
3M™ V.A.C.® ドレープ上に約2.5cmの穴を開け、3M™ SensaT.R.A.C.™ パッドチューブのパッドを穴に合わせて貼付する。

3M™ V.A.C.® Ultra 型陰圧維持管理装置 | 3M™ V.A.C.® 治療の使用方法

本体各部／付属品の名称



本体の充電方法



充電コードコネクターの**矢印側を上に向け**、電源ソケットのマークに合わせて差し込む。
充電中は本体前面のバッテリー充電インジケーターランプが点灯する。
充電中はオレンジ色が点灯し、充電が完了すると緑色が点灯する。

i バッテリーは約4時間でフル充電され、最長6時間使用できます。

電源を切る／入れる



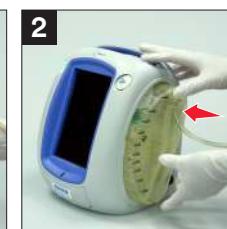
本装置前面の左上隅の『電源オン／オフ』ボタンを長押しすると、ランプが点灯し装置が起動する。セルフチェックプログラム実行後に、[新規患者]画面が表示される。『電源オン／オフ』ボタンを長押しすると、画面表示が消えて装置の電源がオフになる。

3M™ V.A.C.® キャニスターの取扱い

3M™ V.A.C.® キャニスターの装着



3M™ V.A.C.® キャニスターを装着した後に電源を入れてください。



1. 本体側面の3M™ V.A.C.® キャニスターをスライドさせる。
2. 3M™ V.A.C.® キャニスターが本体にカチッとはまるまで押し込み装着する。

3M™ V.A.C.® キャニスターの交換

- 1.『開始/停止』ボタンを押して、治療を停止する。
- 2.チューブクランプを閉鎖し、本体の3M™ V.A.C.® キャニスター リリースボタンを押し、キャニスターを取り外す。
- 3.3M™ V.A.C.® キャニスターを本体に装着し、チューブクランプを開放し、治療を再開する。



i 3M™ V.A.C.® キャニスターが満杯になった場合、または週に1回交換してください。

コネクタの取扱い

コネクタを接続する

チューブコネクタ同士の溝に合わせて挿入し、十分に押し付けて回し、ロックをかけます。



コネクタを外す

チューブコネクタのロックが外れるまで回し、接続していたチューブ同士を離します。

新規使用時

本体画面の操作



3M™ V.A.C.® 治療 (NPWT) を選択する。



「設定の確認」画面

陰圧設定の変更が可能。「詳細設定」では3M™ V.A.C.® 治療のモードを連続またはDPC治療 (3M™ Dynamic Pressure Control™) 治療を選択できるが、3M™ AbThera™ 治療システムを使用する場合は連続治療を推奨する。

設定の確認後、「OK」を選択し、治療を開始する。



「SEAL CHECK™ リーク検出」画面

リーク検出状況を確認し、「終了」を押して「ホーム」画面へ移行する。(一定時間が経過すると自動的に移行する。)



治療継続時



「はじめに」画面で『治療の続行』を選択する。



『治療の設定』を選択する。



『V.A.C.® 治療』選択すると「設定の確認」画面へ移行する。

※治療継続の場合、前回の設定値が反映されています。

3M™ V.A.C.® 治療：画面の確認

ステータスバー

現在の治療状況を表示

- 治療オプション: V.A.C.® 治療
- 治療モード: 連続、DPC*
- 治療ステータス: オン、オフ

* 3M™ AbThera™ 治療システムを使用する場合は連続治療を推奨します。

治療タブのみ使用(履歴、機能は使用しません)



創面の陰圧値

3M™ SensaT.R.A.C.™ テクノロジーにより、モニタリングした値を表示しています。

患者様の体位、位置、体動や滲出液の粘稠度などによる創部の陰圧変化を感じし、設定した陰圧と乖離がある場合は、ソフトウェアによってポンプの出力を調整し、補正します。

インフォメーション

治療概要および現在の設定の確認

- 治療概要タブ: 治療開始日時、治療時間を表示
- 現在の治療設定タブ: 治療中の設定値(もしくは直近の設定値)を表示

イラスト

治療状況を表示

- キャニスターが点滅し、現在の陰圧値を表示

治療の『開始/停止』ボタン

治療を開始または停止するために使用します。

- 設定陰圧: 基本は125mmHg (25mmHg~200mmHg 内で調整可能 [25mmHg 刻み])
- 3M™ V.A.C.® 治療モード: 3M™ AbThera™ 治療システムを使用する場合は連続治療を推奨。
- ドレッシング交換: ドレッシングの交換は創傷および患者の状態に応じ、原則として24–72時間ごと又はそれ以上実施すること。

基本設定と注意点

3M™ V.A.C.® Ultra型 陰圧維持管理装置

3M™ V.A.C.® キャニスター

容器が満杯になった時、もしくは1週間に1度の交換が必要。

| スクリーンロック機能

i この機能を使用し、意図しないボタン操作を防ぐことができます。
夜間モード機能とも併用できます。



『スクリーンロック』を選択すると、画面にロックがかかる。

再度画面をタッチすると上記表示が出現し、
『1』『2』の順に押すと、画面のロックが解除される。

夜間モード機能との併用

1. **『夜間モード』**を選択すると、画面が消灯再度画面をタッチするとうす暗く点灯する。
2. **『スクリーンロック』**を選択すると、うす暗い点灯画面のまま画面にロックがかかる。
3. うす暗い点灯画面のまま約5分経過すると、画面が消灯する。
4. 夜間モードを解除する際は、上記手順でスクリーンロックの解除を行い、
『夜間モード』ボタンを選択すると、画面が点灯する。

| 点滴スタンドへの本装置の取り付け



- ①本装置のキャリーハンドルを持ち、ハンガーノブを握ってハンガーアームを引き出す。
- ②本装置を支えながら、ハンガーアームで点滴スタンドを挟み込む。
装置の背面にあるゴム製の溝に、点滴スタンドの支柱を確実に収める。
- ③ハンガーノブを回してハンガーアームを所定の位置に固定する。
ハンガーノブの矢印をハンガーアームのロック記号に合わせると、ハンガーアームはロックされる。

| ベッドのフットボードへの本装置の取り付け



- ①本装置のキャリーハンドルを持ち、ハンガーノブを握ってハンガーアームを引き出す。
- ②フットボード上にハンガーアームをかける。
ハンガーアームを閉めて本装置をフットボードに取り付ける。
- ③ハンガーノブを回してハンガーアームを所定の位置に固定する。
- ④ハンガーノブの矢印をハンガーアームのロック記号に合わせると、ハンガーアームはロックされる。

3M™ V.A.C.® Ulta 治療システム アラーム画面一覧



3M™ ベラフロ™ 治療関連のアラームについては、3M™ V.A.C.® Ulta治療システムのクイックリファレンスガイドをご参照ください。

アラームトラブルシューティング

重要度と警告方法

中:警告音が3回、約2秒ごとに繰り返し鳴ります
低:警告音が2回、約20秒ごとに繰り返し鳴ります

原因項目	アラーム・アラート		重要度*		対処法
	表示	内容	中	低	
閉塞	V.A.C.® 治療閉塞アラーム(画面①)	閉塞を検知した場合に表示されます。		○	チューブクランプを開放し、チューブのねじれ・折れ曲がり・詰まりの有無を確認し、改善してください。その後、治療を再開してください。
	V.A.C.® 治療閉塞アラーム:治療の中止(画面②)	閉塞があり、治療が中断されたことを示します。	○		
	圧力異常アラーム:治療の中止(画面③)	創傷部の圧が許容上限値を上回っている場合に表示されます。	○		
リーク	V.A.C.® 治療リークアラーム(画面④)	漏れが発生した場合に表示されます。	○		3M™ SensaT.R.A.C.™ パッドチューブおよび3M™ V.A.C.® キャニスターの間のコネクターが正しく接続されているか確認してください。 リーク箇所を探して修復してください。修復後、治療を再開してください。
	V.A.C.® 治療リークアラーム:治療の中止(画面⑤)	漏れが改善されず、治療が中断されたことを示します。	○		
治療停止中	治療停止中アラーム(画面⑥)	装置の電源が入った状態で、治療が15分間中断または一時停止している場合に表示されます。	○		治療を再開してください。
キャニスター	キャニスター満杯アラーム:治療の中止(画面⑦)	3M™ V.A.C.® キャニスターが満杯で、交換が必要な場合に表示されます。	○		新しい3M™ V.A.C.® キャニスターに交換し、治療を再開してください。
	キャニスター取付不良アラーム(画面⑧)	3M™ V.A.C.® キャニスターが正しく装着されていない場合に表示されます。	○		3M™ V.A.C.® キャニスターが正しく装着されているか、確認してください。
バッテリー	バッテリー残量低下アラーム(画面⑩)	バッテリーが切れる約2時間前に表示されます。		○	コンセントに接続し、充電してください。
	バッテリー切れアラーム(画面⑪)	バッテリーが切れる約30分前に表示されます。	○		
陰圧低下	陰圧低下アラーム:治療の中止(画面⑫)	創傷部の陰圧が、設定値を下回っている場合に表示されます。	○		チューブクランプを開放し、チューブのねじれ・折れ曲がり・詰まりの有無を確認し、改善してください。その後、治療を再開してください。
システムエラー	システムエラーアラーム:治療の中止(画面⑬)	本体使用中にシステムに何らかの障害が発生した場合に表示されます。	○		エラーコードを記録してください。 一度電源を切り、再起動させてください。その後もエラーが解除されない場合はソルベントム担当者までご連絡ください。
本体温度	内部温度アラーム(画面⑭)	本体の内部温度が、規定の上限を超えていることを示します。		○	本体を動作温度範囲の環境下に移動してください。

弊社製品に関するお問い合わせ

カスタマーサービス(フリーダイヤル)

0120-897-706

高度管理医療機器（クラスⅢ）
一般的な名称：陰圧創傷治療システム
販売名：V.A.C.Ultta治療システム
医療機器承認番号：22900BZX00204000

使用目的又は効果

本品は、適応疾患に対して、洗浄液の周期的自動注入機能により創面の環境調整、創の清浄化を行い、管理された陰圧を付加し、創の保護、肉芽形成の促進、滲出液と感染性老廃物の除去を図り(Negative Pressure Wound Therapy with Instillation and Dwelling、以下NPWTi-dという)、創傷治療を促進することを目的とする。また、周期的自動注入機能を用いず、従来の局所陰圧閉鎖療法(Negative Pressure Wound Therapy、以下NPWTといふ)創傷部に対して局所的に管理された陰圧をかけることで、創の保護、肉芽形成の促進、滲出液と感染性老廃物の除去を図り、創傷治癒を促進させる。)として使用することも可能である。

高度管理医療機器（クラスⅢ）
一般的な名称：腹部開放創用ドレッシングキット
販売名：ABTHERA ドレッシングキット
医療機器承認番号：23000BZX00328000

使用目的又は効果

適応疾患に対して、腹腔内臓器を覆い、管理された陰圧をかけることにより、外界からの腹部臓器の保護、効率的なドレナージ、炎症の抑制、浮腫の軽減を図り、早期の筋膜閉鎖を可能とする。

注意：当社製品およびそれに関連する治療には特定の適応疾患、禁忌・禁止、警告、使用上の注意事項および安全性情報が適応されます。使用前には、電子添文、取扱説明書を御参照ください。この資料は医療従事者向けです。保険算定に関しては、厚生労働省の各種資料をご確認ください。
Solventumおよびそのロゴ、その製品名等に使用される商標はSolventum及びその関連会社の商標です。3Mおよびそのロゴは3Mおよびその関連会社の商標です。その他の商標はそれぞれの権利者の商標です。

製造販売元

ケーシーアイ株式会社

<https://www.solventum.com/ja-jp/home/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© Solventum 2025. All Rights Reserved.
KCI-005-C(0825)